FCC News

2011年5月号　No.0085

Ｉｎｄｅｘ

カンピロバクター食中毒

オリジナルエコ商品ご紹介

エコキャップ収集活動について

季節のムシ暦（42）

ＦＣＣブログ

株式会社ＦＣＣ

〒251-0043
神奈川県藤沢市辻堂元町4-3-32
Tel　0466-31-3164
Fax　0466-31-3174
URL　http://www.fccsystem.co.jp
E-mail　info@fccsystem.co.jp

ＦＣＣオリジナルエコ商品ご紹介！
ＦＣＣピュアマイルド

1箱5リットル入/5,040円(税込)
希釈タイプ(水1リットルに対して1ml)

強力な食器用洗剤で手が荒れてしまった経験はありませんか？そんな手荒れでお困りのお客様に是非ともオススメしたい商品が**ＦＣＣピュアマイルド**です。

市販の洗剤には洗浄成分として**石油系界面活性剤**が含まれています。この石油系界面活性剤は強力に汚れを落とす反面、**手肌にも強い刺激を与え、手荒れを引き起こします。**

また、人の手肌だけでなく**海洋汚染と言う形で環境にも悪影響**を与えてしまう点が、この石油系界面活性剤の怖い点と言ってもいいでしょう。

しかし、このＦＣＣピュアマイルドには**石油系界面活性剤は一切含まれておりません！**洗浄成分は植物から抽出した天然コロイド(松の油、ヤシ油等)により、**頑固な油汚れもしっかりと洗い落とせます。**

勿論、**手荒れやアトピーでお悩みの方にも安心**してご利用頂ける上、**100%植物から出来ている為、赤ちゃんの哺乳瓶や野菜を洗う事も可能**です。また、**希釈タイプ**なので一度購入して頂ければ長くご利用頂けます！

今回ご紹介したＦＣＣピュアマイルド以外にもＦＣＣでは環境に配慮した様々なエコ商品をご用意しております。

エコ商品専門サイト
ＦＣＣエコ.comでは、**環境や人体に影響の無い食器用・洗濯用洗剤を始めとしたエコ商品を販売**しております。

YahooやGoogleの検索窓に

FCCエコ.com

と入力し、検索して頂きますと上記ホームページをご覧頂けますので、是非ともお試し下さい。

FCCピュアマイルドのページはこちら
http://www.fcc-eco.com/pure.html

マルチ洗浄剤 FCC-ecoはこちら
http://www.fcc-eco.com/eco.html

除菌脱臭剤 FCCデオドラントGELはこちら
http://www.fcc-eco.com/eco.html

油汚れ洗浄剤 FCCオイルクリーンはこちら
http://www.fcc-eco.com/clean.html

高品質洗浄剤 FCCエナジーはこちら
http://www.fcc-eco.com/energy.html

カンピロバクター食中毒を予防しましょう！

5月になり、春から初夏へ移り変わると感染者が増える食中毒と言えば、**カンピロバクターによる食中毒**です。

今回はこれから注意する必要があるカンピロバクター食中毒についてご紹介したいと思います。

カンピロバクター食虫毒の主な原因食品は**生もしくは加熱調理があまりされていない鶏肉**(鶏刺し、タタキ)、**加熱不十分な鶏肉**(鶏鍋、焼鶏、バーベキューなど)、あるいは**鶏肉から調理過程の不備により二次汚染された食品**などです。

カンピロバクターに感染し、食虫毒を発症すると、**発熱、腹痛、下痢や血便などを伴う腸炎症状**がみられます。

通常では医療機関にかかり治療をすれば２～５日で回復しますが、まれに症状が長引いたり、虫垂炎や腹膜炎などの症状もみられるケースもあります。**潜伏期間が他の食中毒に比べて２～７日間と長い**のも特徴です。

近年、カンピロバクター食中毒発症者が日本国内で増加した背景には、生や半生、さっと湯引きしたものを好むなど**食肉の生食化が広まっている**のがあります。

生食した人全てがカンピロバクター食中毒を発症するという訳ではありませんが、食肉の**生食は発症する可能性が非常に高くなる**と言えるので注意が必要です。

カンピロバクター食中毒を予防するには、**食中毒予防の三原則が非常に重要なポイント**となりますので、食中毒予防の三原則、**①菌をつけない ②菌を増やさない ③菌を殺菌する**を踏まえて対策をご紹介します。

①菌をつけない…清潔な状態を維持する為の手洗いは勿論の事、食器や包丁、まな板等の調理器具は良く洗い、熱湯消毒か漂白剤等で徹底的に殺菌する等を徹底しましょう。

②菌を増やさない…食材は極力鮮度の良いものを選び、作り置きはなるべくしない様にしましょう。また、保管の際は常温ではなく冷蔵庫で保管するようにして下さい。

③菌を殺菌する…カンピロバクターは感染力が強い反面、熱に弱い特徴があります。従って食肉を調理する際に中心部が75度で1分間以上加熱する事でしっかりと殺菌出来ます。

これからカンピロバクター食中毒の発生件数が増加する可能性が高くなります。今回ご紹介した予防のポイントを是非とも参考にしてみて下さい。

エコキャップ収集継続中！

ＦＣＣでは昨年より、世界の子供たちにワクチンを届ける為に、**エコキャップ(ペットボトルのキャップ)の収集活動**を行っています。

2010年度は皆様のご協力もあり、**約16万8,000個回収**し、**約420人分のポリオワクチン**に換える事が出来ました。誠にありがとうございます。

本年度もエコキャップ収集活動を継続して参りますので、ご協力下さいますよう、お願い申し上げます。

ご協力頂ける際は下記の連絡先へご連絡をお願い致します。

TEL：0466-31-3164

JAM Dining様、吉鳥様、ベルモント様、オールジャパンサービス株式会社様、アトリエフラン様、エコキャップ収集活動にご協力下さり誠に有難うございます。略儀ながら書面をもってお礼申し上げます。

季節のムシ暦㊷

【人を元気づけてくれる虫、アリ】

株式会社ＦＣＣ顧問　医学博士・農学博士　林　晃史

虫という小動物、眺めようによってはこんなに多様で面白いものは無い。人の中には、この虫を「害虫」といい、時には「益虫」というが、なんとも身勝手な表現である。

こんな虫にもいろいろな表現があるが、人にとって非常に身近な虫は「アリ」ではないだろうか。

今日では、多くの人には想像も出来ないが、私の子供の頃は「遊び道具」になる〝おもちゃ〟（玩具）など庶民には縁遠いものであった。

こんな中で最も手頃の遊び相手は〝ムシ〟であったが、なかでも地べたをはう「アリ」であった。それは蝶やトンボのように飛びまわることは無く、地面に行列を作り這い廻り、子供にもじっと眺めることが出来たからだ。

形は大小さまざまで身体の割りに大きなアンテナを振りながら、せかせかと歩く格好がなんとも親しみやすかった。また、餌を咥えて歩く姿をあきる事なく何処へ行くのか追ったものだ。小さな身体で大きな獲物を巣穴に引き込む姿に驚きもし、子供ながらにその働きぶりに感じたものだ。

では、少年の日の遊び友達であった、この「アリ」とはどんな虫なのか、改めて眺めてみたい。

アリの形態は、頭と胸と腹部で構成されているが、胸部と腹部の間が細く、くびれているのが特徴だ。そのくびれの間に、小さなコブ状のものが1個あるものと2個あるものがある。

アリは、膜翅目と云う虫の一群で「ハチ」と同じ仲間である。その種類は日本で約１５０種が知られているが、人の住居周辺に多いのは地域差があって、１０種から３０種程度である。関東周辺では、約１０種くらいである。

アリで面白いのは、集団で社会生活をすることで、働きアリと云うグループがあって、餌になる生物を保護して利用したり、菌を利用して餌を生産したりもする。

人間とアリの関係を要約するといくつかのパターンがある。それは、人間の食糧によるもの、家きん類のエサになるもの、人畜に被害を与えるもの、農林作物の害虫になるもの、害虫の天敵になるものなどと多様である。

家屋周辺で問題になるアリにはイエヒメアリ、ヒメアリ、オオハリアリ、クロオオアリ、クロヤマアリ、トビイロケアリ、オオズアカアリ、アルゼンチンアリアカカミアリなどが知られている。

しかし、一般には殆ど見わけがつかないのが普通で一口に「クロアリ」と云うことが多い。この中で家屋にしばしば侵入する「クロアリ」と称するものにはヒメアリ、ルリアリ、アミメアリ、トビイロケアリ、アルゼンチンアリなどが含まれている。

その大きさは約１．５ミリから12ミリ前後のものまである。これらが好む食材は、動物性蛋白質や糖質類である。

このアリで気になるのはアリが一次に飛び出す時で、５～６月、７～８月、１０～１１月などに突発することがある。

人家に巣を作るので住居害虫となったのは「イエヒメアリ」である。このアリは熱帯アフリカ産のもので、人間環境の「都市型化」に伴い世界に広く分布するようになった。当初、高知、神戸、大阪、千葉、京浜などの湾岸都市で問題になり、各地に広がった。

働きアリは、体長が２ミリ程度の淡黄褐色をしている。比較的湿度の高い家屋内の壁、天井、床下などに巣を作る。また、この巣は時により移動をくり返す。餌は蛋白質系を好み食品害虫としても厄介なアリである。かつて病院や老人施設など話題になったことがある。

アリにまつわる川柳に、〝蟻一ツ　娘ざかりをはだかにし〟とこんなものがある。これは、アリが人を「かむ」ことのするアリに御用心、御用心。

〔写真説明〕
何を語るのか、糖査に輪になって集う
可愛げなアリ達。

FCCブログ　―　FCCの代表、深澤正司の
『湘南ではたらく小さな会社の社長blog』より

下げたり上げたり（笑）

色々言いますが、私も社員達に支えられている事は事実です。時々48年生きてきて、私の常識では考えられないことも起こりますが…（笑）

しかし今の自分に丁度いい社員達であることは間違いありません。最近、施工部を3課制にしました。2課では実習生を受け入れています。

2課の社員はリーダーが茶トル、その下に主任のウッチーを付けています。

勿論とても良いところがある2人ですが、私に頻繁に叱られます。共通している所は役職者のくせに甘いところ、それとなかなか結論が出なくてイライラします。それからあと～（笑）嘘。

誠実な感じではあるので営業に向いているかなぁ？とかも考えましたが…。でも今回ははまりました。叱られている内容を言いましたが、それは欠点ではなく裏を返せば長所です。

2人とも優しくて、面倒見がとてもいい。気が付きました。実習生とは所謂「障がい者」です。世間では知的障がい者とか言われています。2課の2人は、優しく根気強く教えています。せっかちな私では絶対ムリです。

実習生の2人は、社員になりたい意欲が凄いのです。一生懸命を通り越しています。社員2人からの日報でも日々感じます。私達が元気を貰います。

施工なんてやれるのか？実の所半信半疑での実習でしたが今は出来れば彼らを雇用しようと思います。明日、足が多少不自由な一人を見て判断します。

2人の社員の下なら、実習生の2人もきっと大丈夫でしょう！無事採用に至ったら、今後の経過をこれからもこのブログで報告しようと思います。多少の使命感で。

パソコンからFCCブログをチェック！

FCCニュースに掲載しているブログの記事以外にもFCCホームページには多くのブログがあり、業務の事や日常の出来事など様々なエントリーが投稿されています。

気になった方は

FCC　ゴキブリ駆除　検索

FCCブログ　―　FCC施工スタッフの
『サトル主任の初志貫徹日誌』より

実習生

昨日から実習生として、2週間の期間で、知的障がいの方の雇用が始まりました。

配属は私の2課です。現在、2名の方がいらしていますが、とても一生懸命に仕事を学んでいます。知的障がいといっても、ほとんど健常者と変わりません。

ただ、身体的弱い部分や精神的に不安になられることがありますが、ひとつひとつ真剣に学んでくれます。ヤル気も、人一倍です。

働けることに喜びを感じて、将来に希望を持って取り組んでおられます。私達も見習うべき姿です。

まだまだ、覚えていくには時間は掛かることだとは思いますが、ゆっくりと覚えてくれたらと思います。私は、その為には努力を惜しまずにやっていきます。

施工を覚えてもらい、施工部のひとつの顔として確立させていきます。

施工に伺った際には皆様宜しくお願い申し上げます。とにかく、新しいスタートがきれたことに期待と希望でいっぱいです。

私は、良き理解者となり指導していければと思っています。共に、楽しくやっていきましょう！